

【報道関係各位】

自家用車での旅行・レジャーに関する調査

- この1年間、「月に1回以上」自家用車で旅行・レジャーに出かけた人は58%。
旅行・レジャーの目的は「ショッピング」が66%で最多
- 高速料金の新ETC割引制度、9割以上が内容を認知。
「すでに利用している」は25%、「今後利用したい」は67%
- 車でのレジャー、今後は「増えると思う(47%)」。
理由は、「新ETC割引制度ができたから」が94%

2009年4月24日
株式会社マクロミル
(証券コード:東証一部 3730)

インターネット調査会社の株式会社マクロミル(本社:東京都港区、社長:辻本秀幸)は、全国20~59才の自家用車保有者(1年以内に運転をしている人)を対象に、「自家用車での旅行・レジャーに関する調査」を実施いたしました。

調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2009年4月15日(水)~4月16日(木)。有効回答数は500名から得られました。

【調査結果概要】

【1】この1年間、「月に1回以上」自家用車で旅行・レジャーに出かけた人は58%。 旅行・レジャーの目的は「ショッピング」が66%で最多

家庭で車を所有し、1年以内に運転をしている全国20~59才の男女に、この1年間に自家用車で旅行・レジャーに出かけた頻度を尋ねたところ、「月に1回くらい」が23%、「月に2~3回くらい」が24%、「週に1回以上」が11%となり、合計で「月に1回以上」自家用車で旅行・レジャーに出かけた人は58%となりました。

また、この1年間に自家用車で出かけた旅行・レジャーの目的を尋ねたところ、「ショッピング」が66%で最も多く、次いで「日帰り観光」が61%、「温泉・スパ」が55%となりました。

【2】高速料金の新ETC割引制度、9割以上が内容を認知。 「すでに利用している」は25%、「今後利用したい」は67%

3月に導入された高速料金の『新ETC割引制度』を知っているか尋ねたところ、「適用区間や条件まで、詳しく知っている」が15%、「大体の内容を知っている」が80%となっており、合計で9割以上の人が制度を認知しているようです。

また、今後自家用車で旅行やレジャーに出かける際に『新ETC割引制度』を利用したいと思うか尋ねたところ、「すでに利用している」と回答した人は25%、「今後利用したい」と回答した人は67%となりました。

【3】車でのレジャー、今後は「増えると思う(47%)」。 理由は、「新ETC割引制度ができたから」が94%

今後レジャーに出かける際に、『新ETC割引制度』を利用したいか尋ねたところ、「すでに利用している」25%、「今後利用したい」67%、「利用したいと思わない」7%という結果となりました。

今後、車でのレジャーが増えると思う理由は、「高速道路新ETC割引制度ができたから」に「当てはまる(当てはまる+やや)」と回答した人が94%、「ガソリンが以前より安くなったから」は「当てはまる(当てはまる+やや)」と回答した人が81%となりました。

「自家用車での旅行・レジャーに関する調査」

【調査結果詳細】

■調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ								
調査地域:	全国								
調査対象:	家庭で車を所有し、1年以内に運転をしている20～59歳の男女（マクロミルモニタ会員）								
有効回答数:	合計 500 サンプル	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
		24s	43s	139s	113s	67s	34s	18s	62s
※都道府県別の乗用車保有台数比率(財団法人自動車検査登録情報協会 HPを参考:平成21年1月末現在)に合わせて回収した。									
調査日時:	2009年4月15日(水)～4月16日(木)								
調査機関:	株式会社マクロミル								

I. 自家用車での旅行・レジャーについて

■ この1年間、「月に1回以上」自家用車で旅行・レジャーに出かけた人は58%

家庭で車を所有し、1年以内に運転をしている全国20～59歳の男女に、この1年間に自家用車で旅行・レジャーに出かけた頻度を尋ねたところ、「月に1回くらい」が23%、「月に2～3回くらい」が24%、「週に1回以上」が11%となり、合計で「月に1回以上」自家用車で旅行・レジャーに出かけた人は58%となりました。

年代別にみると、30～40代では「月に1回以上」自家用車で旅行・レジャーに出かける人が6割以上となっています。また、同居している子供がいる人では「月に1回以上」が60%と、同居している子供がいない人の55%に比べやや高い割合になっています。(図1)

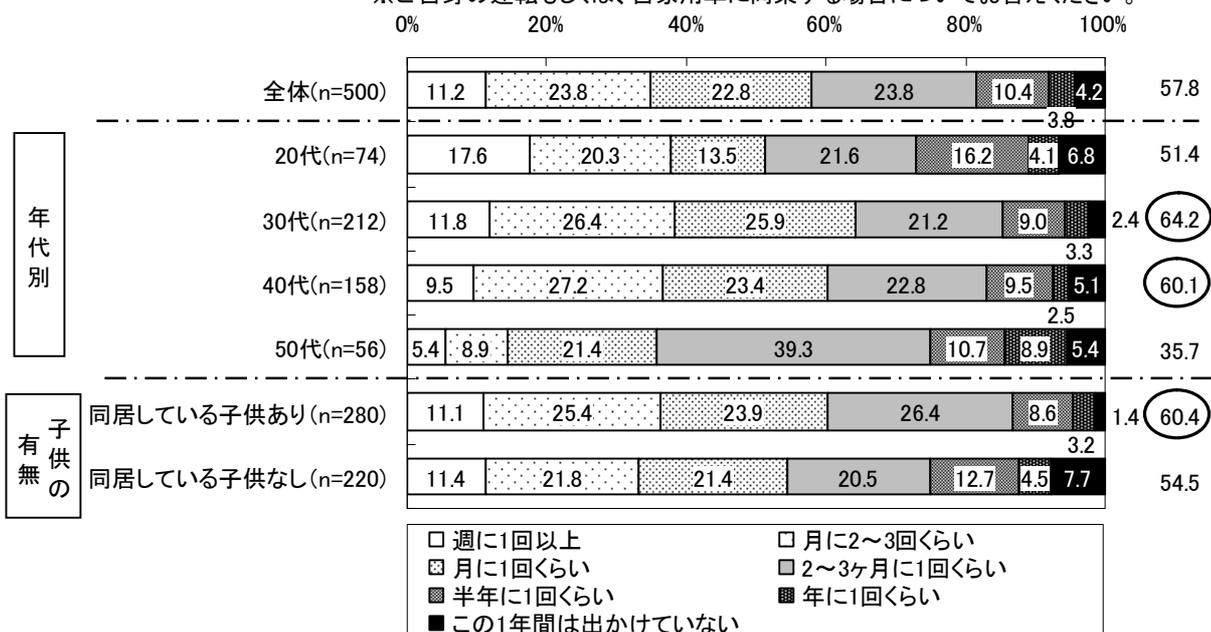
【図1】最近1年間における自家用車による旅行・レジャーの頻度

Q.あなたはこの1年間、自家用車での旅行・レジャーに、どのくらいの頻度で出かけましたか。

※自家用車による帰省も含めてお答えください。

※ご自身の運転もしくは、自家用車に同乗する場合についてお答えください。

以
月
上
1
・
回
計



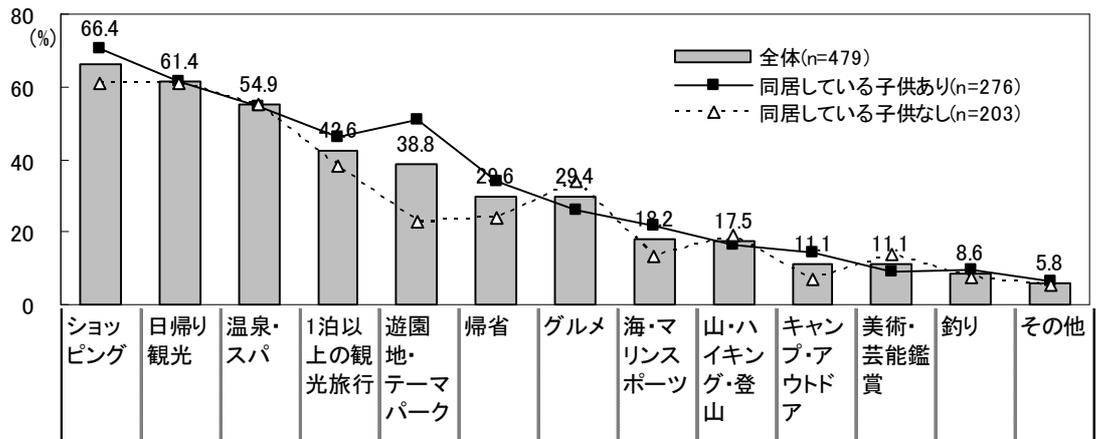
■ 旅行・レジャーの目的は「ショッピング」が66%で最多。

次いで「日帰り観光」が61%、「温泉・スパ」が55%

この1年間に自家用車で出かけた旅行・レジャーの目的を尋ねたところ、「ショッピング」が66%で最も多く、次いで「日帰り観光」が61%、「温泉・スパ」が55%となりました。

同居している子供がいる人では、「ショッピング」や「1泊以上の観光旅行」、「帰省」など多くの項目で子供のいない人に比べ自家用車で出かける割合が高くなっています。特に「遊園地・テーマパーク」は51%と、同居している子供のいない人の23%に比べ20ポイント近く高い割合になりました。(図2)

【図2】最近1年間に自家用車で出かけたレジャーの目的
 <ベース:最近1年間に旅行・レジャーにでかけた人>
 Q.あなたがこの1年間に、自家用車で出かけたレジャーの目的は何でしたか。
 あてはまるものをお知らせください。(複数回答)
 ※ご自身の運転もしくは、自家用車に同乗する場合についてお答えください



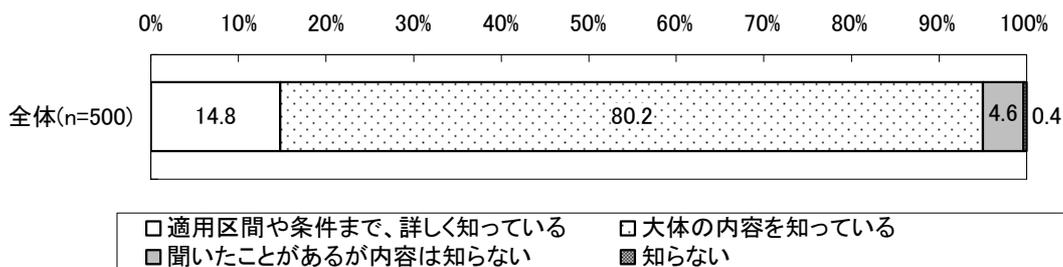
	全体(n=479)	ショッピング	日帰り観光	温泉・スパ	1泊以上の観光旅行	遊園地・テーマパーク	帰省	グルメ	海・マリンスポーツ	山・ハイキング・登山	キャンプ・アウトドア	美術・芸能鑑賞	釣り	その他
全体(n=479)	66.4	61.4	54.9	42.6	38.8	29.6	29.4	18.2	17.5	11.1	11.1	8.6	5.8	
有子	70.3	61.6	54.7	46.0	50.7	34.1	26.1	21.7	16.3	14.1	9.1	9.4	6.2	
無子	61.1	61.1	55.2	37.9	22.7	23.6	34.0	13.3	19.2	6.9	13.8	7.4	5.4	

II. 高速料金の新ETC割引制度について

■ 高速料金の新ETC割引制度、9割以上が内容を認知

3月に導入された高速料金の『新ETC割引制度』を知っているか尋ねたところ、「適用区間や条件まで、詳しく知っている」が15%、「大体の内容を知っている」が80%となっており、合計で9割以上の人が制度を認知しているようです。(図3)

【図3】3月に導入された『高速道路新ETC割引制度』の認知
 Q.あなたは、3月に導入された『高速道路新ETC割引制度』をご存知ですか。

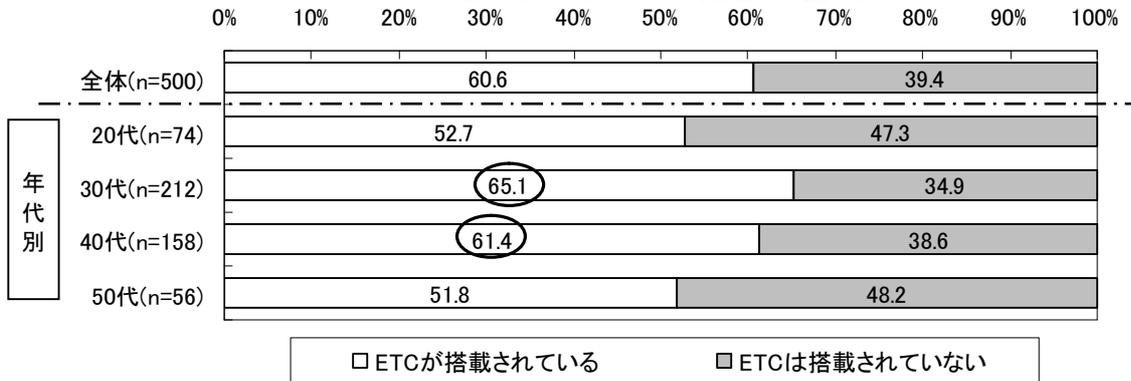


■ 自家用車のETC、6割が「搭載している」

普段家庭で使用する車にETCが搭載されているか尋ねたところ、61%の人が「搭載されている」と回答しました。年代別にみると30～40代で、他の年代に比べ搭載している割合が高くなっています。(図4)

【図4】ETC(自動料金収受システム)の搭載の有無

Q.あなたが普段ご家庭で使用する自家用車に、ETC(自動料金収受システム)は搭載されていますか。
※自家用車を複数台所有している場合、旅行・レジャーに最も利用する車についてお答えください。



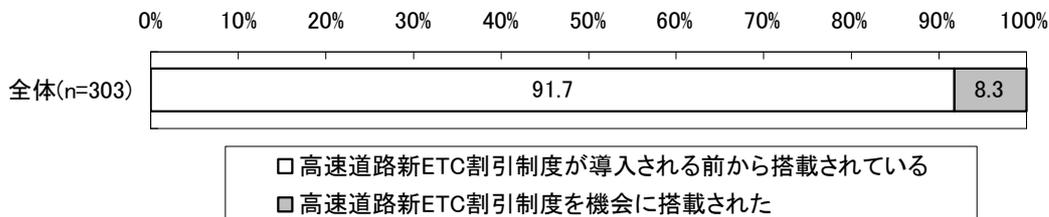
■ ETCの搭載時期、8%は「ETC割引制度を機会に搭載された」

現在、自家用車にETCが搭載されている人に、ETCの搭載時期を尋ねたところ、「高速道路新ETC割引制度を機会に搭載された」と回答した人は8%でした。(図5)

【図5】ETC(自動料金収受システム)の搭載の時期

＜ベース:ETC所有者＞

Q.あなたが普段ご家庭で使用する自家用車に、ETCが搭載された時期について、当てはまるものをお知らせください。



■ ゴールデンウィークまでにETCを「購入する予定」は26%

ゴールデンウィークまでにETCを購入する予定があるか尋ねたところ、26%の人が「購入する予定」と回答しています。

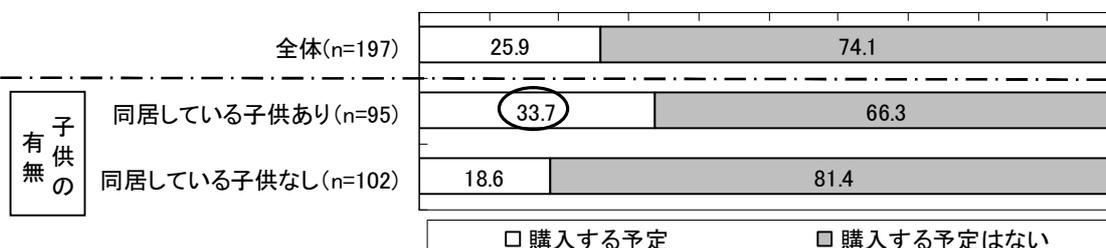
同居している子供がいる人では、「購入する予定」と回答した人が34%と、同居している子供がいない人に比べ高い割合になっています。(図6)

【図6】ETC(自動料金収受システム)の購入予定

＜ベース:ETC非所有者＞

Q.あなたは、ゴールデンウィークまでにETCを購入する予定がありますか。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

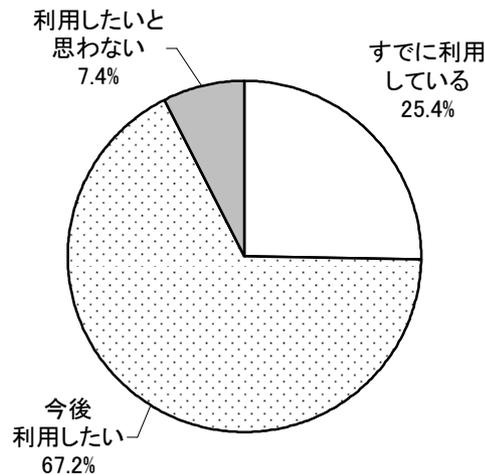


■ 新ETC割引制度、「すでに利用している」は25%、「今後利用したい」は67%

今後、自家用車で旅行やレジャーに出かける際に『新ETC割引制度』を利用したいと思うか尋ねたところ、「すでに利用している」と回答した人は25%、「今後利用したい」と回答した人は67%となりました。(図7)

【図7】今後の『高速道路新ETC割引制度』の利用意向(n=500)

Q.あなたは、今後レジャーに出かける際に「高速道路新ETC割引制度」を利用したいと思いますか。
※ご自身の運転もしくは、自家用車に同乗する場合についてお答えください。



III. 今後の車でのレジャーについて

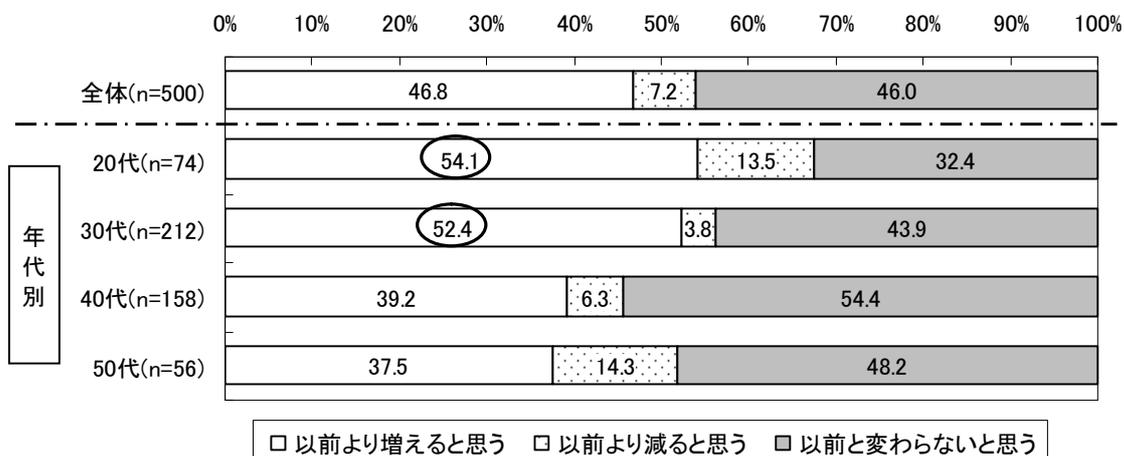
■ 車でのレジャー、今後は「増えると思う(47%)」

今後の車でのレジャーについて尋ねたところ、「以前より増えると思う」と回答した人は47%となりました。一方、「以前より減ると思う」と回答した人は7%で、全体的には車でのレジャーが増加すると考えている人が多い結果となりました。

年代別にみると、20~30代では「以前より増えると思う」と回答した人が50%以上と40~50代に比べ高い割合になっています。(図8)

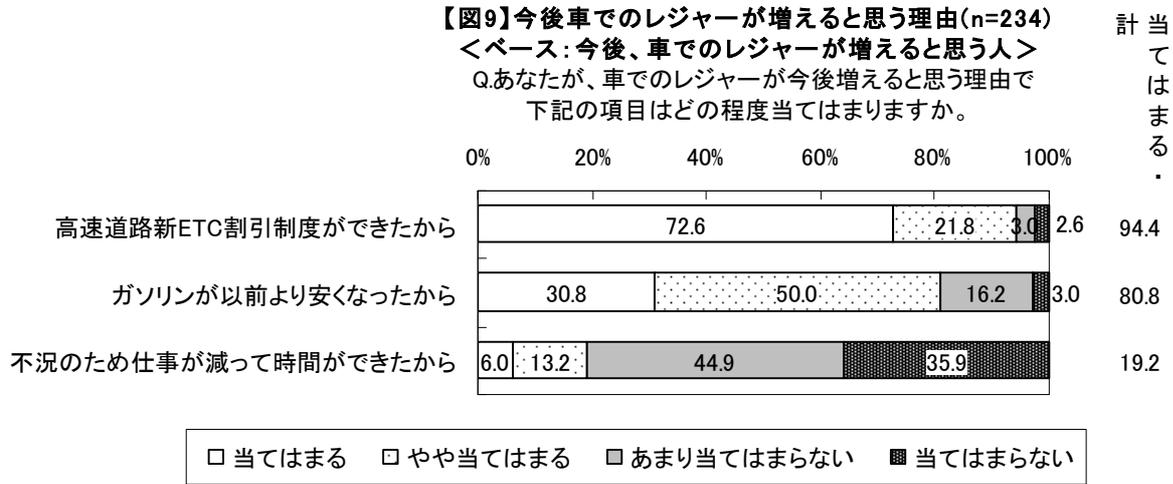
【図8】今後の車でのレジャーについて

Q.あなたは、今後の車でのレジャーについてどう思いますか。
あてはまるものをお知らせください。



■ 今後、車でのレジャーが増えると思う理由は、「新ETC割引制度ができたから」が94%

今後、車でのレジャーが増えると思う理由を尋ねたところ、「高速道路新ETC割引制度ができたから」に「当てはまる(当てはまる+やや)」と回答した人が94%、「ガソリンが以前より安くなったから」は「当てはまる(当てはまる+やや)」と回答した人が81%となりました。(図9)



IV. 自動車内での過ごし方について

■ 渋滞時の過ごし方、約9割が「音楽(CD等)を聴く」

自家用車での旅行・レジャーにおいて、渋滞の時、車内でどのように過ごしているか尋ねたところ、「音楽(CD等)を聴く」が88%で最も多く、次いで「同乗者と会話やゲームをする」が57%、「ラジオを聴く」が53%となりました。(図10)

【図10】渋滞時の車内での過ごし方(n=500)

Q.あなたは、自家用車での旅行・レジャーにおいて、渋滞の時、車内でどのように過ごされていますか。(複数回答)
 ※ご自身で運転中もしくは自家用車に同乗中についてお答え下さい。

順位	渋滞時の車内での過ごし方	(%)
1	音楽(CD等)を聴く	88.0
2	同乗者と会話やゲームをする	57.2
3	ラジオを聴く	53.0
4	飲食をする	38.2
5	テレビ・ワンセグ放送を見る	30.2
6	DVDを見る	16.0
7	歌を歌う	15.2
8	携帯でメールやゲームをする	9.2
9	ポータブルゲーム(DSなど)をする	4.6
10	マンガを読む・読書をする	3.6
-	その他	1.6

■ 運転中、同乗者の嬉しかった行動 1位は「食べ物や飲み物を渡す(61%)」。
 不快な行動は「渋滞で機嫌が悪くなる(34%)」がトップ

運転中、同乗者がしてくれた行動で嬉しかったことを尋ねたところ、1位は「食べ物や飲み物を渡す(61%)」、2位が「話しかけてくれる(50%)」、3位が「運転の疲れを気遣う(42%)」となりました。(図11)

また、運転中、同乗者の行動で不快だと感じることを尋ねたところ、1位「渋滞で機嫌が悪くなる(34%)」、2位「車内を汚す(32%)」、3位「運転の仕方について指図される(32%)」となりました。(図12)

【図11】自分が運転中、同乗者がしてくれた嬉しかった行動(n=500)

Q.あなたは自家用車での旅行・レジャーにおいて、ご自身の運転中、同乗者がしてくれた行動で嬉しかったことはありますか。(複数回答)

順位	嬉しかった行動	(%)
1	食べ物や飲み物を渡す	61.4
2	話しかけてくれる	50.2
3	運転の疲れを気遣う	42.4
4	ナビをしてくれる	34.0
5	途中で運転を代わる	31.0
6	眠らない	26.6
7	運転手の聞きたい音楽やラジオを優先	16.6
8	車内をキレイにしてくれる	14.8
9	ゴミを持ち帰る	10.2
-	その他	1.2
-	特になし	12.2

【図12】自分が運転中、同乗者にされた不快な行動(n=500)

Q.あなたは自家用車での旅行・レジャーにおいて、ご自身の運転中、同乗者にされて不快なことはありますか。(複数回答)

順位	不快な行動	(%)
1	渋滞で機嫌が悪くなる	33.6
2	車内を汚す	32.0
3	運転の仕方について指図される	31.8
4	タバコを吸う	27.0
5	運転手を残して眠る	21.4
6	会話がな	20.6
7	ゴミの置きっぱなし	17.0
8	音楽やラジオを勝手に変える	9.8
9	携帯電話での会話	8.6
10	メールやゲームをする	7.4
11	飲食	3.2
-	その他	1.0
-	特になし	28.0

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 83 万人を超える独自調査モニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL ■www.macromill.com
設立 ■2000 年 1 月 31 日
資本金 ■9 億 3,035 万円 ※2008 年 9 月末現在
上場取引所 ■東証一部 (証券コード : 3730)
代表者 ■代表取締役社長 辻本 秀幸
従業員数 ■277 名 ※2009 年 3 月末現在
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査 (ネットリサーチ)

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———

株式会社マクロミル 広報担当：関・大野
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」